

4/27 (火)

山下：坂本文恵 “子どもの遊びにおける対人関係調整のための音楽的表現の役割について”

集団遊びの減少

遊びの中で歌を歌わなかったことと関係しているのでは

音楽的表現に着目し、人間関係にどのように

今の遊びと昔の遊びの質の変化

観察 今の子どもはどのような音楽を使っているか？

他の子を誘う時に歌を使う

昔 集団を維持するために

<批判>

昔も声かけや「せーの」とか使っていたのではないか？ 決して今、増えているのか？

「遊びの中で使う音楽的表現を耳にすわしいと思っている」とあるが、それが理由なのか？

「日常生活の中で大人が子どもに音楽的な言葉かけをしている」とあるが、

遊びは非日常的世界→先生の影響

日常世界と非日常世界を分ける必要はない。

<質問>

・集団遊びが減少した理由

子どもが遊ぶ範囲が狭まったから。

中島：鈴木亜希 “幼児期・児童期の習い事が社会的スキルに与える影響”

5歳 かけ算、英会話などに通っていた → 習い事が本当に良い事なのか？
ピアノ、塾、

↳ 自律的精神を養う

<アンケート結果> 習い事をしている方が先生とよく話をしている。

<批判>

・「いじめ、仲間はずれは習い事に行き友達と遊ぶ機会がなくなったから」とあるが本当に
そう言えるのか？

・子どもの将来を期待する

・習い事を親の進めでしている子は本当に子どものプラスになっているのか？

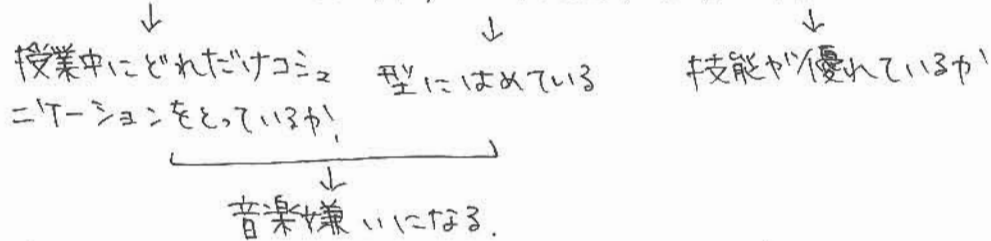
・悪影響と述べているが、プラスの面もあるのでは？

中佐: 大川

音楽科授業改善のための教師の課題 ~ 「音楽を嫌い」をなくすために

元々、人間は音楽が好きなのに、どうして嫌いになるのか?

(理由) コミュニケーション因子, パターン化因子, 音楽的技能因子



<批判>・授業を壊さないためにパターン化している → 嫌いにならないためにパターン化は

・パターン化した授業はつまらない → 子どもと教師間のスレ

・時間外もコミュニケーションをとった方が良い(テレビを見たり)、あらゆる角度でも対応できるようにするとよい → 忙しくなる

<質問>なぜ人間は音楽が好き? 赤ちゃんの時から反応するから、先住民族などから鑑賞と合唱とかでは対応が違わないか?